

短期研修報告書

記入 | 2023年 9月
所属 & 学年 | 医学部 1年生

留学先大学 (国名)	韓国
短期研修のプログラム名	Korean Language and Culture Training Program
留学した期間	8/1~8/11

1. 留学前の準備 (応募のきっかけや動機、申込手続、語学対策など)

名古屋大学に入学してやりたいことの一つに、海外留学をはじめとする国際交流があった。また研修先は韓国だったが、今回のプログラムにおいては語学レベルが問われなかったため、第二言語をまだ選択していない私でも参加することができるかと知り、挑戦してみたいと考えた。

2. 研修内容や学校 (内容と時間数・形態、授業の感想、学生同士の交流など)

研修期間は大学の寮で過ごした。午前と午後でそれぞれ 2-3 時間の講義があり、主に英語で行われた。多くは片方が韓国語の授業で、もう一つは韓国の文化を学ぶ体験型の講義であった。土日は特別講義という形で、グループ毎に過ごしたり、観光地を訪れたりした。求められる英語のレベルはそれほど高くないが、韓国語の授業に関してはある程度文字や文法の知識があるべきだと感じた。寮で生活することもあり、常にプログラム参加者の誰かと過ごしていたため、学生同士の交流はかなり深かったと言える。

3. 生活 (住環境、食生活や健康管理、金銭管理、持参して良かったものなど)

住環境は日本とさほど変わらないように感じた。食生活に関しても、欧米諸国と比べると日本人にとって食べやすいものが多いように感じられた。しかしながら、学校の食堂では、辛いものが苦手な人にとっては食べづらいメニューも多くあった。一方で、近くに飲食店が多くあり、そこで食事をするのも容易だった点は留学生にとって有り難く、実際に多くの学生が利用していた。

健康管理としては、ある程度の睡眠時間は毎日確保するようにしていた。

金銭管理については、現地で極端に現金が無い状況になることを避けるため、主にはクレジットカードを利用していた。クレジットカードがあればほぼ全ての場所で支払い可能であったが、学生同士で飲食店に行き、会計を折半する場面などもいくらかあった。そのため、多少の現金は持っておくべきだと感じた。

持参してよかったものとして、常備薬が挙げられる。現地で薬が必要になっても、必要な時にすぐ適切な物を手に入れられるとは限らず、加えて海外のものは合わず、効かないことなどもあるため、日本で普段使う物を持って行く方が良い。また、コンセントの形が日本と違う国に行く際には、変換プラグを用意することと、テーブルタップがあると尚良いと感じた。他に、日本のお菓子などを持って行くと、他の国から来た学生にも気軽にあげやすく、話すきっかけを作りやすくなるため、持参してよかったと考えている。

4. 危機管理 (身を守るために気を付けていたことや危険を感じたことなど)

危機管理として、寮の外に出るときには常に誰かと一緒に行動して 1 人の時間を作らないようにしていた。また、貴重品は身につけて、一瞬でも目の届かない範囲に置くことなどがないように心がけていた。

5. 留学を終えて感じること&留学を考えている学生へのメッセージ

留学を終えて、期間中、異なる国の学生と話をし、多くの国について知ったり、色々な考え方に触れたりすることができたと強く感じている。また、日本人学生間でも、自分とは違うことを学んでいる方々とお話を通じて新たに学ぶところや気付く点があった。このように、語学面以外でも様々な学びがあり、また、これから外国語を学んでいくモチベーションにもなった。留学を考えている学生には、とりあえずやってみるという姿勢を大切にして、現地での時間はやり過ぎかと思っても感じるくらい積極性を持ち、自分の実力などに遠慮しないで過ごしてほしい。

6. 研修費用 (さしつかえなければおおよその金額を教えてください)

内訳	おおよその額	備考
航空運賃&ビザ申請料	50000 円	ビザ不要。
海外旅行保険	0 円	元々入っている保険を利用した。
授業料 (教材費含)	0 円	協定校が負担。
滞在費 (寮費など)	0 円	協定校が負担。
食費	20000 円	ほぼ毎食食堂でも用意されていたが、ルームメイトと外食する場が多かった。
交通費	0 円	主にスクールバスで移動。
その他 (小遣い、通信費など)	50000 円	お土産代、Wi-Fi 代。
計	円	

自由記述欄 * 現地のおすすめ情報や留学エピソードなどご自由にご利用ください。写真添付なども歓迎します。

↓↓↓



